

# 1. 学長挨拶・開催趣旨

## 学長挨拶



本日は、琉球大学未来共創フェア2019にお越しいただき、誠にありがとうございます。

琉球大学は、「地域社会への貢献」を大学のミッションの一つに掲げ、1950年(昭和25年)の創立時からこれまで、教育研究の成果を地域社会に還元し、社会・経済・文化の発展に寄与すべく、鋭意、取り組んでまいりました。

この度、琉球大学未来共創フェア2019を開催することとなりました。本フェアは、本学のビジョンである「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」の実現に向け、本学が取り組む教育・研究・診療の成果を広く地域社会にご紹介し、地域社会とのコミュニケーションの場を創出することによって、新たな地域貢献活動を共創する機会とすることを目的としております。

今回のフェアは、2部構成です。第1部では、東京大学名誉教授の姜尚中先生をお招きし、「大学と地域社会 ―地域貢献の必要性―」をテーマにご講演をいただきます。

第2部では、ブース形式による出展やパネル展示形式での出展を行うこととしております。ブース出展では、本学の附属図書館及び博物館による合同企画展や、本学が所蔵する県内芸術家の絵画を集めた琉大移動美術展も開催します。また、子ども向けの科学講座やものづくり講座、一般向けの一次救命処置など、文系から理系及び診療に至るまでのブースを揃えております。さらに、本学の包括連携協定締結先である市町村や企業・民間団体の協力による企画展も用意しております。どうぞ、琉球大学の教育・研究・診療・地域連携・国際連携などの今を「見て・触れて・感じて・学んで」楽しんで下さい。

結びに、本フェアの開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様並びに本日お越しいただきましたご来場の皆様へ厚く御礼を申し上げますとともに、本フェアをきっかけとして、琉球大学が地域の皆様にとって、より身近な存在として感じていただければ、幸いに存じます。

平成31年3月23日  
琉球大学 学長  
**大城 肇**

## 開催趣旨

琉球大学のビジョン「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」の実現に向け、本学が取り組む教育・研究・診療の成果を広く地域社会へと開示するとともに、それを通じた地域社会とのコミュニケーションの場を創出することで、さまざまな次元における新たな地域貢献活動を共創する機会とします。

地域とともに「豊かな未来社会」をデザインするため、本学の地域貢献に関する諸活動(教育、研究、医療・診療)を地域社会と共有することで、地域に暮らす人々に、豊かな明るい未来をイメージしてもらえ創出します。

「豊かな未来社会」のイメージを参加者に感じて頂き、大学と地域や市民との対話の機会とするために、以下の方針で取り組みます。

- ①地域の人々が地域貢献の内容を理解しやすい展示とします。
- ②地域貢献の展示方法については、参加者が「豊かな未来社会」を体験・体感できる参加体験型の展示「見て、触れて、感じて、学ぶ」となるよう工夫します。

琉球大学地域連携推進機構長 理事・副学長  
琉球大学未来共創フェア2019 実行委員長

**須加原 一博**